

# 有明高専だより

第16号

有明工業高等専門学校

〒836・大牟田市東萩尾町150

Tel 09445 ③ 1011

印刷・西田印刷所

## 入学式式辞

学校長 轟 一郎

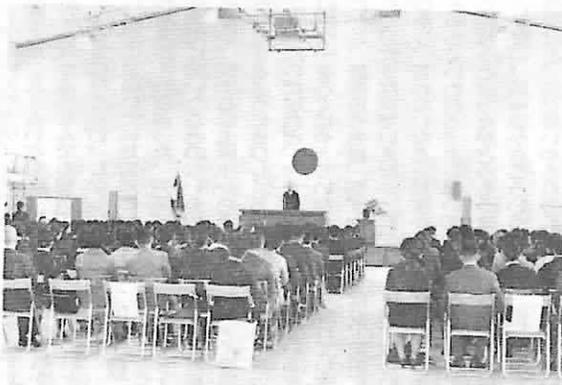
本日(15)日、有明工業高等専門学校第十一回の入学式を挙行し、機械工学科石橋博光君ほか三十八名、電気工学科阿美古晃君ほか三十七名、工業化学科荒木保幸君ほか三十八名、建築学科池辺雅啓君ほか三十六名、合計百五十三名の入学を許可するにあたり、御祝いと、新しい学校生活を始めるにあたっての注意を申し上げます。

諸君は本校入学を希望する多くの友人の中から選ばれて本校学生となりました。われわれ教員・職員一同心よのおめでたい申し上げをこの機会に温かくお迎えしたいと思います。

工業高等専門学校は、諸君のような中学卒業生を受け入れ、五十年の一貫教育によって、機械・電気・工業化学・建築などの技術者を育成する高等教育機関として十五才の若年から実験・実習・製図などの専門技術を修得する。同時に、語学・数学・物理・化学・体育などの一般科目も、各自が選んだ専門科目とを併行して学習することを特長とするものがあります。

本校は昭和三十八年の創設であって、校地は海抜五メートルの

平坦な台地であり、東側に小岱山を、有明海を臨んで西南に雲仙を望み、周囲は緑に囲まれ、教育



環境としては恐らく全国高専中最優秀の部に入ると信じています。本年は創立十周年にあたる記念すべき年であり、既に六回卒業生を社会に送り、卒業生は皆社会の期待に応えて十分な活躍をしております。諸君はもとより続く者として先輩に劣らぬ立派な卒業生として本校を卒業出来るよう、今日より

環境としては恐らく全国高専中最優秀の部に入ると信じています。本年は創立十周年にあたる記念すべき年であり、既に六回卒業生を社会に送り、卒業生は皆社会の期待に応えて十分な活躍をしております。諸君はもとより続く者として先輩に劣らぬ立派な卒業生として本校を卒業出来るよう、今日より

心がけていただきたい。

本校の教育方針は、知育・徳育の調和のとれた人材を育成することにあります。学校教育ではやはりもすれば知育に片寄りの勝ちになりやすいのですが、人間性豊かで、精神的にも肉体的にも強健であることが、それにも増して重要であることは論をまちません。諸君が学問に精進することは学生本来の姿でありますが同時に人格の陶冶にため、体育・スポーツなどによって精神と肉体の練習に努力していただきたい。

諸君の在学期間は五年であり、今、卒業の目途を想う時、雲煙千里の感があると思えます。しかし、千里の道も一歩一歩を踏みしめることにより踏破出来るのであります。特に科学技術の学問は一日一日の学習の積み重ねによってはじめて修得出来るものであり、毎日の絶えざる努力をおそれずに進んでいくことが大切であります。

諸君の二つの眼は希望に輝いており、胸はよろこびにやわやわしています。目標に向かって引きまはるるであります。今日この初心を忘れないでいただきたい。

諸君の二つの眼は希望に輝いており、胸はよろこびにやわやわしています。目標に向かって引きまはるるであります。今日この初心を忘れないでいただきたい。

切にお願いいたします。

ここで父兄の方々にお願いがあります。私も学校にある者は、本日皆様の大御子御子弟をお預りいたしました以上、十分注意し、人間性豊かな有能な技術者として社会に送り出すために努力いたします。

しかし、教育はひとりの学校のみによって行えるものではなく、社会も家庭も、学生の教育には大きな影響を及ぼしています。特に家庭との不断の協力なくしては、われわれ学校にあるものがいかに努力しても十分ではありません。どうか御家庭におかれても、学校に預けてあるから大丈夫と願われず、学校とよく連絡をとって下さいようお願いいたします。

新入生諸君、諸君には輝かしい未来が待っています。その未来を真に輝かしいものとするために、どうか今日の初心を忘れないよう

## 精神衛生講話行わる

4月27日(後3時より)一年生に三池保義院長の富松教授先生を招いて、青年期の精神衛生を中心として講話をしていただいた。青年期に多い分裂症についての症状及び等について有意義なお話を聞かせていただいた。又、講話後、富松先生及び校医の先生を囲んで教職員による座談会を行い、有益なお話をきかされた。

- ▽併任
  - 学生主事補 竹下多嘉記
  - 機械工学科主任 木本 知男
  - 建築学科主任 神田 信三
- ▽新任
  - 助手(機械) 川崎 義則
  - (熊本大学研究生より)43 機
  - 助手(化学) 渡辺 徹
  - (九州大学教員より)
  - 技能員(実習工場係) 中河原又吉
  - ▽兼任
    - 助教(化学) 石橋 助吉
    - 助教(一般) 穴山 健
    - ▽退任
      - 教授(電気) 甲木 幸資
      - 教授(電気) 大石豊郎
      - 助手(化学) 石坂 真
      - 文部事務官(総務係) 入江 孝信
      - (文部省へ) 川村 清
      - 文部技官(工場) 川村 清

48年度オリエンテーション



Table with 2 columns: Date/Time and Activity. Includes items like '4月12日(木) 9:15 学校出発', '4月13日(金) 7:40 朝食', '4月14日(金) 6:30 起床'.

8:45 団別別集會
9:00 スポーツ
10:40 作文、20分種別反省會
12:00 昼食
13:15 阿蘇青年の家出発
16:20 学校着

あいつのよれ

M I 山崎光彦

いろいろ不安をもち入学式を迎えた。友人もいない、入寮するから今からはなんでも自分でやらなくてはならない。しかし、それ以上に頭のいたい対面式という行事がその夜あった。対面式は今までに聞いたことのないものである。要するに上級生からあいさつするまじりにきびしく言いわたされたけれど、今まで「あいつ」をろくにやっていたいなかたから、最初のうちは、恥ずかしくて、大きな声でいえなかった。しかし、言わないなら上級生からとかくいわれる。よし思い切って言おうと思、たがどうもうまくいかない。第一歩からどういふうではと、先が思いやられてこれから先やってくれるのかと思、たそういふ不安や悩みをもってオリエンテーションに臨んだ。

山登り

E I 小林和文

二日目に阿蘇山中岳に登った。ロープウェイを頭上に見、よき岩を踏みしめて登ったのだけど、噴煙を上げていた火口をのぞいたら疲れも忘れてしまっていた。やっぱり、阿蘇に来てよかった。反面、厳しい面も思いしらされた。先生の言っておられた高専の道というものが、こんなものかもしれない。それは、火口東から火口、そして東奥まで、列が組めずバラバラに歩いていたら、先頭と最後がかなり離れたということである。このことがそのままこれから高専の勉強のよきと思われ、何か急に不安を抱えた。わずか二時間ほどであつたけれど、どれだけの差になる。そして、このことは距離のなさをいかにきり出した数値で表わさないだけに

環境をまもる

C I 福井利作

阿蘇の自然を存分に味わえる場所に住んでくれている青年の家は、半分忘れかけていた自然の良さというものを再び再発見させてくれた。二日目に登った中岳と朝の集いの時に見えた連山である。それから火口の中の無味、神秘といふか、地球は生きてくるの感を深くした。全く国立公園の感を感じた。全く国立公園の名に恥じない堂々たる美であると思、この大自然を前にくは考えた。現在の環境破壊のことを、川や海は汚染され、大気までもが汚染されている。そんなことを考えているとこの素晴らしい阿蘇の山々も、何十年か後には自然美を失ってしまうのではないだろうか。自筆紹介の時誰かが、一歩が有明高専を卒業したら環境汚染をなくすため頑張りたい。と書いたのをよくは覚えている。その時、その場限りの夢だと聞き流したが、この生活しているうちに、それは本心だと思えてきた。そして、ほんまに工業化学科で勉強して、自然保護のために頑張ろうと決心した。美しい自然というものは人間の心を養えてくれないと思、思、昔の有名な誰かがこんなことを言っていた。

代表者をつとめて

A I 井手 徹

阿蘇のオリエンテーションの代表者に選ばれていて、やっていたか大いに不安をたまらなかつた。代表者をつとめて

卒業式告辞

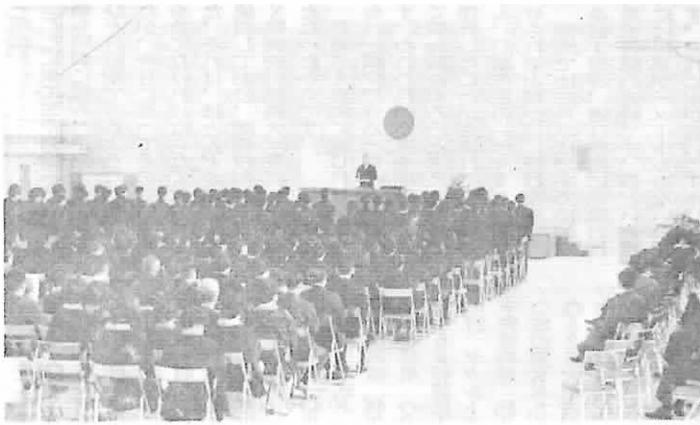
学校長 轟 一郎

本日ここに、来賓、父兄、教職員多数参列のもと、有明工業高等専門学校第六回の卒業式を挙行し機械工学科阿部素久君ほか三十二名、電気工学科荒木政敏君ほか三十八名、工業化学科井上広志君ほか三十一名、建築学科荒瀬君ほか二十六名、合計百三十一名を社会に送るにあたり、一言所懐を述べて告辞いたします。

諸君が本校に入学したのは、昭和四十三年桜の花咲く春四月でありました。それより五年が、諸君は本校生としての本分を守り、一般科目・専門科目にわたる学習の全課程を終了し、本日卒業證書を授けられたことになりました。教官・職員とともに心よりの御礼を申し上げます。

諸君の喜びあふれるなかから、今日まで諸君のために言われた御家族の方々の御安堵いかにかりかと存じます。御家族の方々に對しては、御卒業の御祝いを申し上げます。後援会を通じて本校の教育活動に御協力いただいた事に対し厚く御礼申し上げます。本校は昭和三十八年の創設、本年はあたらしく創立十年にあたることに、建築学科も最初の卒業生を出し、学校として完成をみた

記念すべき年でありませう。さて諸君は、本校志望にあたり



念願したとおり技術者として、新鋭の技術者として、日本産業界の各分野に活躍するところになりました。その日本産業界が通商問題公害問題等各種の試験に立たされ

でありませう、技術そのものも過去においては想像しなかつた根本問題に直面してきています。過去においては、技術あるいは技術開発そのものが人間の幸福に直結すると考えられてきました。しかるに今日では、技術開発は公害・環境に

関する十二分の配慮を怠っては、かえって人間の幸福を破壊するに及ぶと考えることが明らかとなりま

ないエネルギー供給システムの開発もまた然りでありませう。

明日の技術者の責務を思つて、諸君の肩にかかる荷は重いのであります。しかし、諸君が本校五年の学習を通じて得た理論と実技、

一、大学卒業生との間に、自分から壁を作らず、自信をもつてのびのび生きること。二、視野を大きく、考え方は柔軟に、周囲と協調してゆくと。学校の評価は卒業生が作るものであります。諸君の後に続く者のためにも、よき社会人となっていただきたい。

学校行事

Table with 2 columns: Date and Event. Includes items like '4.9 始業式', '10 入学式', '11.14 新入生オリエンテーション', '20 開校記念日', '29 球技大会', '5.中旬より修学旅行(4年)', '6.中旬 遠足', '6.15.21 前期中間考査', '7.2 球技大会', '16.17 父兄懇談会', '8.21 夏休み(8.31まで)', '26.27 九州地区高専(夏期)体育大会', '11.1 創立10周年記念式', '3.4 高専祭', '九州地区高専(冬期)体育大会', '総会競技大会', '下宿主との懇談会', '後期中間考査', '冬休み(1.7迄)', '吹奏楽部定期演奏会', '予備会', '入学志願書受付', '後期末試験5年', '3.1.7 卒業式'.

(二頁より続く)

た。青年の家につくと、大分高専と東芝商社の新入社員の人たちとの二泊三日の合同生活が始まった。有明高専の代表者としてわたしがまがまがの代表者として、東芝商社と大分高専の代表者は、おちついてた。その東芝商社の代表者は事務課の係員の人で、大分は今年で五回目の研修という学生会長だったのだから。青年の家での生活指導は、代表者、寮長、班長が置かれそれぞれにまかせられそれを青年の家の係員の人々が指導していくシステムが用いられており、引率の先生は、研修にたずさわらただけということになってたが、あんまりわたしがまがまがしていたので、先生からいろいろと書類の続きやその他の面を助けてもらった。そんな訳で、大分高専の人たちとも東芝商社の人たちとも研修の打ち合わせなどで、会話の機会ができた。頭も覚えがたくなかった。建築学科のクラスメイトや一年全部の頭や一年生関係の諸先生方もいろいろと話をすることができた。また、代表者として、神話を使ったり、心配したりしていろいろと話をしたが、一つの集まりを統一していくことのむずかしさを身をもって知ることができた。で、貴重な経験になったと思う。

退官の辞

甲木 手 賢

此の度、四月一日付をもって退官いたしました。本校赴任以来十一年になりました。この時に当って各教授の称号を頂き真に分に過ぎたことと願ひて忝むるものがあります。これに加えて結構な記念品まで贈られ恐縮しています。又本年度の電気工学科卒業生の謝恩会の席上、思いもかけず在校電気工学科生諸君一同から美事な花輪を送られ、その上始業式の帰途生諸君からまで記念品を頂き、私の未熟な授業にもかかわらず生諸君の寛容さに改めて頭の下がる思いがしました。この紙面をお借りして深く謝意を表す次第です。

同窓通信

化学

アラビアから 46化 木村宏広
(前略)
ここにきて三か月余(3月)工事も順調に進み、予定より工程をひと月短縮できるような状態でしたが、今日に至ってその甘い考えを捨てなければならぬ状態になりました。それは、ほとんどを現地人を使用しており、溶接技術が不足、X線検査の結果大半手直しが必要となったからです。
言葉さえ自由に通じれば欠陥ももっと減少できると思つて残念です。われわれが卒業を間近に控えて英会話をもう一つ考えただけで挫折したことが悔まれてなりません。石橋先生の「サマミロ」と仰せられるお顔が目につきます。
現地では三月半ばですすでに40度を越す暑さ、連日砂嵐に見舞われ悪戦苦闘の連続です。ひどいときには境界が「メートルもないのです。それに水が悪いです。こんなところによく人が住めるものだと感心します。
(後略)
同君はサウジアラビア・リヤドに健闘を続けていられます。好漢に健康を留意されよ。(清水)

- ▽小山敏弘君 43化 結婚
3月11日大牟田において挙式
▽黒田藤子君 43化 進学
▽徳島大学工学部研究科(物理化学教室)
▽770徳島市中常三島町3の16 川西ミツル 方
▽高口行徳君 43化 結婚
3月3日大牟田において挙式
▽平川博一君 43化 転職
▽東海樹脂工業KK研究開発課
▽470・24愛知県知多郡美浜町北方西側。
▽龍野陽一君 43化 結婚
4月15日挙式
▽岩下信興君 44化 広島大学工学部を卒業
▽ヤクルト本社へ
▽168杉並区上高井戸1の28
▽27 ヤクルト本社杉並寮
▽宇野由利君 45化 転勤4月
▽味の素KK九州工場へ
▽中山明君 45化 転職
▽大設KK 大牟田市北磯町へ
▽8336 大牟田市浪花町22
▽8336 大牟田市浪花町22
▽植木千枝君 46化 転居
▽240横濱市保土谷区新井町561 日立初陽寮
▽木村安広君 46化 海外出張
第14号で予報したとおり、昨冬からサウジアラビアのリヤドに千代田化工の仕事で出張。苦悶の連続とか便りをしてました。

- ▽頭髪に相違ない。ご健闘を祈る。
▽簡井武夫君 47化 転職
▽KK職社 久留米市本町へ
▽837大牟田市白銀480の3
▽後藤忠君 44化 転勤
▽花王石鹸KK九州工場へ
▽小柳雅晴君 43化 結婚
4月14日挙式
▽290千葉県市原市辰巳台東の3 日産石油化学アパート A123号
▽大久保光雄君 47化 結婚
3月14日挙式
▽586大阪府河内長野市松ヶ丘中町1328の1
修学旅行
▽工業化学科
旅程 本紙14号掲載とおり
引卒教官 清水 永田 宿泊先
6月24日 富山市新富町1・5
の3 まじり旅館
0764-41-2626
6月25日 長野県筑後郡本郷村大字三ツ山一八三〇
美鈴荘 02634-2-4379
6月26日 岐阜県吉城郡上宝村平湯一〇七の四 湯元館
05788-57
6月27日 京都市中京区河原通竹屋町東入る 石長旅館
075-221-1101

- 卒業生来訪者(電気工学科)
いずれも、会社の求人に来訪。
上村修 43電 近畿電気工事勤務
井上幹 43電 日本航空
永松新 44電 三菱電機
白倉秀行 45電 松下電器
近浦剛一 45電 日立電線
仁和春香 45電 松下電工
川原
▽藤田修二君 48機
▽471愛知県豊田市豊田町8トヨタ平山豊和寮201号
▽藤田秀之君 48機
▽西田電機
▽811・31福岡県筑前郡古賀町久保868・1西部電機松風寮
▽吉武信男君 48機
▽日立
▽422愛知県豊田市野口町道下67・5日立白川寮
▽阿部和人君 43機
48年5月2日結婚
▽今古豊義広君 43機
48年4月1日結婚
▽591堺市新金岡町二丁目五番地4・101
▽中山一孝君 43機
48年5月25日結婚の予定
▽後藤誠一君 44機
48年10月28日結婚の予定
▽平山栄一君 44機
48年2月24日結婚
▽米多比呂世君 43機
▽ミルタカメラ 開発部
590堺市大仙西町三丁目91
▽590堺市瑞美合一丁目29 12棟306号
▽上村敏雄君 43機 転勤
▽三井東洋化学大阪工業所工務部計画室
592大阪府高石市高砂町4・10・11三井東洋化学井寮
▽592大阪府高石市加茂町4
▽相浦弘親君 43機 結婚
▽西崎 厚君 48機 結婚
▽前田勇男君 45機 近く結婚の予定

- ▽金子政巳君 48機
▽大根根手サンホテルセミナーホールで研修中
278千葉県野田市
▽木下慎治君 48機
▽精機工業所設計部
661尼崎市東塚口町1・12・10
▽清水啓之君 48機
▽日本水産
東京臨海での訓練を終え戸畑で研修中
804北九州市戸畑区小芝2・4・25日水小芝寮
▽中田 隆君 48機
▽菅場工業KK
509・02岐阜県可児郡可児町土田 菅場工業KK 東山寮
▽堀内正美君 48機
▽ダイキン工業
590大阪府堺市旭ヶ丘北町1・24ダイキン工業誠風寮
▽松尾洋二君 48機
▽富士電機
309・01埼玉県北足立郡吹上町1・6・13富士電機長谷

電気

有明高専図書館だより

有明高専図書館の記録3

昭和48年6月15日
棚田図書係教官から「図書館新嘗希望意見書」が校長あて提出された。この意見書において「大学には附属図書館の制度があり、高校には学校図書館法による法的よりどころがある。しかるに高専については設置基準中に図書館の名称が挙げられていない程度・・・」と指摘し、高専の図書館の重要性、研究開発室、学習閲覧室の必要を説き高専図書館のモデルとしていかなる作業も引受けることを述べた。
▽昭和48年7月15日
図書室第10号発行。際(こみち)と題しての室報は本号をもつて一応休刊となった。
▽昭和48年7月19日
教育会議に共同研究「高専図書館はいかにあるべきか」が提案採択され、甲木教務主任を中心として全教官および関係事務官が一丸となってまとめることになった。
▽昭和48年11月26日
全園図書大会(熊本市)に

おいて会員たる棚田図書係教官が「工業高専専門学校図書館の分科会設置について」を提案した。当日高専側からほかに富山米子、宇部、久留米、大分、有明各校の図書主任が出席した。
▽昭和48年12月25日
本校校長から国立高専協会、施設設備委員会主任吉村和二郎(鈴鹿高専校長)あて、「図書館新設について」を先方照会に対する回答として送った。
▽昭和49年2月1日
図書館建設委員会規程制定施行。委員として教務主任、学生主任、学科学主任、事務部長、図書係教官をもって構成(後では事務部長各課長を追加)。
▽昭和49年3月20日
有明工業高専専門学校紀要創刊号発行。前記の共同研究を発表した。

来訪者
昭和48年2月〜4月
48年2月13日 久留米高専、船戸図書係長 他1名
48年3月26日

館外帯出図書冊数調
1973, 02, 01/04, 30
開館日数 45日 入室者数 6,828人
機械工学科 電気工学科 工業化学科 建築学科 計
1学年 178 128 86 95 487
2 41 107 66 98 312
3 60 58 100 62 280
4 91 34 52 44 221
5 18 54 28 18 118
計 388 381 332 317 1,418

校内マイク
カーペット敷きで、靴のままおかれる図書室として一年、おかげできれいなを保つことができた。訪者からのごお喜びの言葉を頂く。
関係者の協力、事務部のご努力もあって、毎日電気工学科3年の諸君が清掃に当たってくれていいたことが大きい。感謝のほかない。

学生の希望図書について
学生の希望図書については、たがえ、他の購入計画に多少の影響があっても購入すべきと思う。高専図書館の機能は研究的機能に比して学習的機能が一層重要である。予算面では開校以来、かなりの面を校内で出していたが、真摯な学生の要求を受けとめて、学生と図書館との好ましい協力関係を維持し、深めてゆきたいと願う。

昭和外帯出図書冊数利用統計
昭和47年度
開館日数 213 入室者数 33,517人
機械工学科 電気工学科 工業化学科 建築学科 計
1学年 1,328 556 630 744 3,258
2 248 590 410 336 1,584
3 315 361 797 315 1,788
4 580 432 383 223 1,608
5 143 805 335 306 1,589
計 2,614 2,744 2,555 1,924 9,837

### クラブ学生を表彰

表彰委員会

在学中熱心にクラブ活動をした学生に、何らかの形で報いてやる事はできないものか、という事が以前から話されてきた。が、仲々具体化するに至らなかった。今度学校も創立以来10年を経、建築学科も最初の卒業生を生じた昭和48年3月、それが漸く実現をみた。

学生主事を中心に顧問の間で何回となく話し合いを持ち、内規を練り、それに依り、各クラブ顧問に卒業予定者の中から該当学生を推薦してもらった。その学生に関しては、文化局、体育局の顧問会を各々開いて選考した。そこで選出された学生を、学生主事、主事補、文化局、体育局の各総括顧問及び学生課長の間で再度最終的に検討して表彰学生を決定した。

表彰の場には卒業式直後が選ばれ、表彰委員長の松島学生主事から賞状と記念品が渡された。

この様なきまやかな事でも、実際クラブで頑張っている学生にとり、はげみにもなればと考える

- ▽文化局 11名
- ESS 福島憲一(C)
- 清水啓之(M)
- 吹奏楽 松井啓明(M)

### ▽体育局 24名

- 陸上 荒牧秀樹(E)
- 瓜生陽一郎(A)
- 藤尾直悟(A)
- 大川和夫(M)
- 柏村紀臣(M)
- 山下広喜(E)
- 庭球(軟) 前川博治(M)
- 荒木政敏(E)
- 古瀬毅朗(E)
- 永井浩一(A)
- 渡辺俊朗(A)
- 北島俊春(M)
- 中田隆(M)
- 磯釘和敏(E)
- 古賀大輔(E)
- 村上盛昭(E)
- 原田調一(A)
- 石本洋幸(M)
- 古賀利保(C)
- 浜田雅典(A)
- 山口正剛(A)
- 木下数則(A)
- 重野克己(A)
- 植木勝(E)

### 春の球技大会

快晴に恵まれた4月29日、春の球技大会が行なわれた。競技は、ソフト、バレー、卓球の三種目について争われ、熱戦であった。

- ▽ソフトボール
  - 一位5E 二位5M 三位3M
- ▽バレーボール
  - 一位4A 二位3A 三位4M
- ▽卓球
  - 一位4M 二位5C 三位3M (主事室)



### 第九回冬期高専 体育大会

11月23・24・26日に佐世保高専において、ラグビー・サッカーの両競技が行なわれた。ラグビーは佐世保高専、サッカーは久留米高専との対戦で開始された。雨天でグラウンド状態は悪く、ラグビーは惜敗し、サッカーは延長のうえ、PK戦で勝をひらいた。翌日も、雨天、サッカーは優勝戦へ進出し、佐世保高専に惜敗し、準優勝となった。

この日は元来、前号に掲載すべきところ、おくれたしまった。深謝。(主事室)

- ▽ラグビー
  - 佐世保16 (10-0) 0有明
  - 優勝 北九州 準優勝 鹿児島
- ▽サッカー
  - 有明3 3久留米
  - PK戦で有明の勝
  - 有明2 1大分
  - 優勝 佐世保 準優勝 有明

### 同窓会

会員の皆さんその後益々お元気な発展のごとおよろこび申しあげます。有明高専もこの三月に第六期生を送りだし、本会もいよいよ会員六〇〇名を数えるほどになりました。

さて、本来ならば総会を開催すべきところですが、この紙面で総会にかえさせていただきます。47年度の決算については、左記のとおり報告いたします。なお、小

|       |     |         |     |         |         |         |         |         |         |
|-------|-----|---------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ◎収入の部 | 会費  | 91,739  | 会金  | 131,000 | 利息      | 6,885   | 計       | 229,624 |         |
| ◎支出の部 | 会費  | 21,000  | 活動費 | 33,040  | 印刷費     | 103,000 | 用品費     | 2,700   |         |
|       | 交通費 | 2,030   | 印刷品 | 2,045   | 消耗品     | 28,350  | 振替手数料   | 28,350  |         |
|       | 雑費  | 192,165 | 計   | 37,459  | 繰越      | 361,872 | 計       | 399,331 |         |
|       | 差引  | 399,331 | 前年度 | 繰越      | 399,331 | 計       | 399,331 | 繰越      | 399,331 |

西君の見舞金として二、五百円を役員会の承認を得て支出いたしました。本年は有明高専開校十周年であり、十一月にその記念行事が予定されています。そこで本会もこの一環として当会主催の記念行事を立案中です。

会長の 井上幹 43電

### 九州地区、全国体育大会等迫る

- ▽第10回九州地区体育大会
  - 期日 7月26日(木) 27日(金)
  - 会場 鹿児島高専
  - 主管校 津山高専
- ▽九州地区高専親善水泳大会
  - 期日 8月1日(水)
  - 会場 久留米市石橋文化センター
- ▽全国高専体育大会
  - 期日 8月21日(火) 22日(水) 23日(木)
  - 会場 岡山県各会場
  - 当番校 久留米高専